

AC・Net ニュース

NO. 150

2007年

6月14日

Human Network for Researchers toward Advanced Telecommunications

梅雨の候、皆様には益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

先日の平成19年度総会は、参加の皆様のご賛同のもと、滞りなく終了することができました。また、井上様の特別講演にも多数のご参加をいただき、盛況のうちに閉会いたしました。

次回7月の例会は、兵庫県先端情報通信技術推進会議共催で「産学連携と関西経済同友会の提言について」に関する講演を下記の通り予定しておりますので、皆様ふるってご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

☆7月の例会 ～兵庫県先端情報通信技術推進会議共催～

日 時： 2007年7月4日(水)

会 場： 大阪新阪急ホテル 2F

講演会： 15:00～17:00 「月の間」

「[知的財産]、[産学連携]、[イノベーション]
——変わる研究開発のあり方」

日経 BP 知財 Awareness

編集長

長廣 恭明 氏

「組込みソフト産業振興等における産学連携事例」

西日本電信電話株式会社

代表取締役常務取締役

大竹 伸一 氏

懇親会： 17:15～18:30 「星の間」

第167回 AC・Net 例会 (7月4日)

～ 兵庫県先端情報通信技術推進会議共催 ～

【講師】 長廣 恭明 氏

日経 BP 知財 Awareness 編集長

【演題】 「知的財産」、「産学連携」、「イノベーション」
——変わる研究開発のあり方」

【概要】

研究開発や経営戦略の各段階で常に知的財産を意識する「知財経営」、産学連携を含めた「オープン・イノベーション」を駆使する新しい研究開発スタイル、標準化戦略や知財による技術の囲い込みを活用した事業展開。企業の経営・研究開発・事業戦略は、知的財産や産学連携などの新しい取り組みが進むなかで大きく変化している。本講演では、このような新しい動きを概観し、その中で特に今後の研究開発に焦点を当てて進むべき方向性について議論していく。

【略歴】

1991年3月、東京工業大学大学院修了。

同年4月、日経BP社に入社、日経マイクロデバイス編集に配属。

2002年3月、日経マイクロデバイス副編集長。

2004年1月、(株)テクノアソシエーツへ出向。

2005年4月、日経BP知財 Awareness

(<http://chizai.nikkeibp.co.jp/chizai/index.html>) 編集長。

2006年4月、産業イノベーション (<http://sangyo.jp/>) 編集長を兼務。

【講師】 大竹 伸一 氏

西日本電信電話株式会社
代表取締役常務取締役

【演 題】 「組込みソフト産業振興等における産学連携事例」

【概 要】

企業から見て、大学の持つポテンシャルは魅力的である。他者よりも先に知る知識が「未来の価値」であり、企業にとって極めて重要である。しかしながら企業は、現在の顧客や株主に責任があり、現在から将来を見ざるを得ない。一方、大学は未来から現在を見ることができる。つまり、産業発展には「産学連携」は欠かせない仕組みである。

産学連携の最近の事例として関西経済同友会は、「組込みソフト産業振興」に取り組んでいる。組込みソフト技術者の人材育成や、ソフト会社の技術力の見える化を実現するための評価制度の導入について検討をすすめている。また NTT 西日本が取り組んでいる「V6 プレミアムフォーラム活動」も併せてご紹介する。

【略 歴】

昭和46年	3月	京都大学 工学部	卒業
昭和46年	4月	日本電信電話公社	入社
平成 元年	3月	電話事業サポート本部	設備部 担当部長
平成 3年	2月	姫路支店	支店長
平成 7年	3月	東北支社	副支社長
平成 9年	7月	グループ企業本部	事業企画部長
平成11年	1月	西日本会社移行本部	サービス運営部長
平成11年	7月	西日本電信電話株式会社	サービス運営部長
平成12年	7月	同 理事	サービス運営部長
平成12年	8月	日本電信電話株式会社	理事 第二部門長
平成14年	6月	株式会社エヌ・ティ・ティ	エムイー東京 代表取締役社長
平成15年	2月	株式会社エヌ・ティ・ティ	エムイーサービス東京 代表取締役社長（兼務）
平成16年	6月	西日本電信電話株式会社	常務取締役ソリューション営業 本部長 技術部担当 設備部担当
平成18年	6月	代表取締役常務取締役	戦略プロジェクト推進本部長 ソリューション営業本部長兼務 ネットワーク部担当 サービスマネジメント部担当 技術部担当
平成19年	6月	代表取締役副社長	就任予定（6月21日）

* H19年度総会(5月30日)

風薫る中、新阪急ホテルにて平成19年度情報通信技術研究会総会が行われました。吉田会長の議事進行により進められ、平成18年度事業報告及び、決算報告が承認されました。続いて、平成19年度事業計画案、予算案の審議が行われ、ともに承認されました。ここに滞りなく総会が終了しましたことをご報告申し上げます。



* AC・Net 5月特別講演会

演題：「国際協調力の強化に向けて = ITU-T 局長選挙から学ぶこと =」

講師：(社) 情報通信技術委員会 TTC

専務理事 事務局長

井上 友二 氏



～特別講演会のアンケートから～

- 国際標準化は生半可なことではうまくゆかないことが実感できた。
- ITU-T 局長になったらやろうとしていた政策や公約のようなものをもう少し聞きたかった。
- 国際的選挙の裏話に触れる機会を得られてよかったです。
- ちょっと耳に痛い話ではありましたが、率直なご意見を聞かせていただき、大変参考になりました。「グローバル化」の下、最近日本の良さが失われていると感じていた私には共感できるものでした。
- 日頃は聞くことのないお話を紹介いただき、大変興味深かったです。Inter-region という、新しい視点を見せていただいたのは有益でした。
- ITU-T の、日ごろは知ることが出来ない話をたいへん興味深く拝聴しました。それとともに、このままではますます日本が国際社会から取り残されるのではという危機感がひしひしと伝わってきました

【事務局から】



○講演会の御案内は、メール配信及び WWW-KARC のホームページ (www.karc.nict.go.jp/ACnet)で行っています。

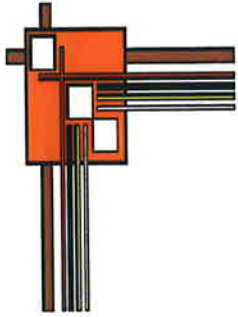
○会員名簿情報に変更がある場合は、その都度事務局までお知らせください。

〒 651-2492 神戸市西区岩岡町岩岡 588-2

独立行政法人 情報通信研究機構 未来 ICT 研究センター内

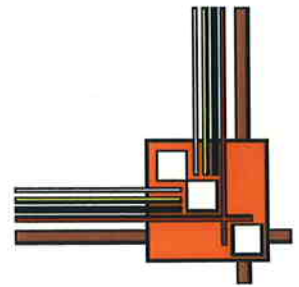
TEL 078-969-2132 FAX 078-969-2119

E-mail [acnetjimukyoku\(atmark\)po.nict.go.jp](mailto:acnetjimukyoku(atmark)po.nict.go.jp)



情報通信技術研究会(AC・Net) 第167回例会のお知らせ

兵庫県先端情報通信技術推進会議共催



情報通信技術研究会
運営委員長 益子 信郎

記

1. 日 程 2007年7月4日(水)
2. 会 場 大阪新阪急ホテル 2F
〒530-8310
大阪府大阪市北区芝田 1-1-35
TEL. 06-6372-5101・FAX. 06-6374-6885
3. 講演会 15:00～17:00 「月の間」
「知的財産」、「産学連携」、「イノベーション」
——変わる研究開発のあり方
日経 BP 知財 Awareness 編集長
長廣 恭明 氏

「組込みソフト産業振興等における産学連携事例」
西日本電信電話株式会社 代表取締役常務取締役
大竹 伸一 氏

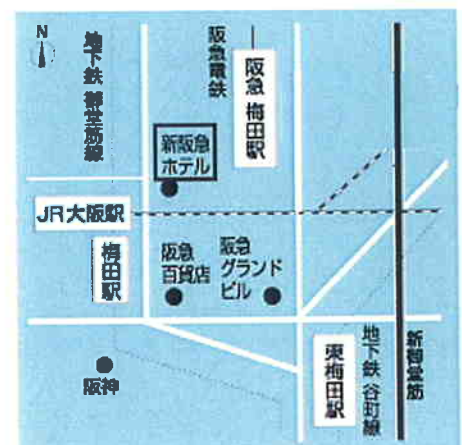
4. 懇親会 17:15～18:30 「星の間」

5. 会場までのご案内

<交通>

JR 大阪駅下車

阪急・阪神・地下鉄梅田駅下車



宛先：情報通信技術研究交流会（AC・Net）事務局
（E-mail acnetjimukyoku@po.nict.go.jp ・ FAX: 078-969-2119）

2007年 月 日

7月4日（水）第167回 AC・Net 例会講演会参加申込書

共催：兵庫県先端情報通信技術推進会議
協賛：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

会場：大阪新阪急ホテル 2F（講演会「星の間」/懇親会「月の間」）
〒530-8310 大阪市北区芝田 1-1-35
TEL. 06-6372-5101・FAX. 06-6374-6885

例会講演会：

講演1：「知的財産」、「産学連携」、「イノベーション」
——変わる研究開発のあり方
日経 BP 知財 Awareness 編集長
長廣 恭明氏

講演2：「組込みソフト産業振興等における産学連携事例」
西日本電信電話株式会社 代表取締役常務取締役
大竹 伸一氏

下記の通り参加を申し込みます。

	講演会 15:00～17:00	懇親会 17:15～18:30
該当部に○		
氏名		
所属		
種別	AC・Net会員 けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会会員	非会員

例会無料。懇親会 AC・Net法人・大学会員 1000円、個人会員無料、非会員2000円(会場徴収)

・その他事務局への連絡事項

・今後の講演でご希望(講師・テーマ)等があればお書き下さい